

協議の柱（テーマ）① 防災教育（地域防災力の向上）				
年 度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
ゴールイメージ （目的）	【学校】児童生徒が避難場所が分かり、いつでも一人でも適切な場所を選んで避難できる。			
	【地域】地域住民全員が、自助・共助・公助により、それぞれの実態に応じて避難できる。			
学 校	目指す子どもの姿（目標）	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と相談し、避難場所を決定し、決められた経路で避難することができる。 ※登下校中に大きな地震・津波がきたら、『自分が一人の時』でも近くの高台や避難場所などに避難することができる自信がありますか。 児童アンケート目標数値（85%以上） ・自ら地域の避難訓練に参加することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と相談し、避難場所や避難経路を決定し、避難することができる。 ※登下校中に大きな地震・津波がきたら、『自分が一人の時』でも近くの高台や避難場所などに避難することができる自信がありますか。 児童アンケート目標数値（90%以上） ・避難訓練の際、地域の方に声をかけながら避難することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人でも、避難場所や避難経路を決定し、避難することができる。 ※登下校中に大きな地震・津波がきたら、『自分が一人の時』でも近くの高台や避難場所などに避難することができる自信がありますか。 児童アンケート目標数値（95%以上） ・避難訓練の際、地域の方をサポートしながら避難することができる。
	学校としての協働活動（例）	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の参画を得た（当事者意識の高揚）計画案の作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の参画を得た（参加団体全ての目的を把握した）計画案の作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の参画を得た（参加団体全ての目的を達成できる）計画案の作成
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域団体と連携した事前学習（図上訓練）の実施（児童からの協力依頼や案内） ※ 依頼・案内の範囲を広げていく。 			
地 域	目指す地域の姿（目標）	地域住民が、自助・共助の在り方について意識し、適切に避難できるようになる。	地域住民が、自助・共助・公助の在り方について意識し、適切に避難できるようになる。	地域住民が、自助・共助・公助の在り方について理解し、適切に避難できるようになる。
	地域としての協働活動（例）	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民（地域団体）が災害を自分事としてとらえ、子どもたちも守りながら、参画する。（地域住民の避難訓練にも位置付ける） ・事前学習（図上訓練）への地域団体の参画（参加協力） 	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民（地域団体）が防災訓練の年間計画の中に、学校の避難訓練を組み入れ、目標を設定し、子どもたちを守りながら、参画する。（地域住民の避難訓練にも位置付ける） ・事前学習（図上訓練）への地域団体の参画（他の団体への参加依頼） 	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民（地域団体）が防災訓練の年間計画の中に、学校の避難訓練を組み入れ、目標達成を意識して、子どもたちを守りながら、参画する。（地域住民の避難訓練にも位置付ける） ・事前学習（図上訓練）への地域団体の参画（他の団体への参加依頼・司会進行）

「地域とともにある学校」「学校を核とした地域づくり」の具現化

